

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月29日

上場会社名 株式会社 ODKソリューションズ 上場取引所 東
 コード番号 3839 URL <https://www.odk.co.jp>
 代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 勝根 秀和
 問合せ先責任者 （役職名） 常務取締役 （氏名） 作本 宜之 TEL 06-6202-0413
 半期報告書提出予定日 2025年11月7日 配当支払開始予定日 2025年12月2日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 （機関投資家及びアナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	2,100	△0.4	△423	—	△395	—	△310	—
2025年3月期中間期	2,108	9.0	△376	—	△343	—	△261	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △234百万円（－％） 2025年3月期中間期 △245百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△37.98	—
2025年3月期中間期	△32.16	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	8,215	6,038	73.5	736.92
2025年3月期	9,253	6,304	68.1	771.02

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 6,038百万円 2025年3月期 6,304百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2026年3月期	—	5.00			
2026年3月期（予想）			—	5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	11.2	530	2.7	580	0.6	380	44.3	46.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	8,200,000株	2025年3月期	8,200,000株
2026年3月期中間期	5,813株	2025年3月期	22,912株
2026年3月期中間期	8,183,722株	2025年3月期中間期	8,127,379株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、第2四半期（中間期）決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、2025年11月6日（木）に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料につきましては、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方で、物価上昇が実質賃金を上回る状況による消費マインドの低下、米国の通商政策変動等が、景気を下振れさせるリスクとして意識されております。

情報サービス産業におきましては、企業の収益性向上や人手不足対策等のためのDX（デジタルトランスフォーメーション）及びAIへの投資は引続き高い水準で推移しております。加えて、政府のIT投資やデジタル施策も継続されており、市場のさらなる拡大が見込まれております。

こうした環境下、当社グループは、日常の様々な体験や実績をNFT(※1)としてデジタル化・蓄積する『アプデミー®』の活用により、「学歴・資格」等だけではなく多様な体験が個人の価値として、大学入試や留学、就職活動等に活用できる世界観の実現を目指しております。以下は、当社グループのビジョンマップであります。



長期的に目指す世界観を踏まえ、当社グループでは、中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）の基本方針に「ODKグループ拡大」を掲げ、「UCAR0®を軸としたデータビジネス推進」「M&A・アライアンスの推進」「研究開発成果のビジネス展開加速」「子会社合併効果の最大化及びCABUILD構想の成功」「重点エリア・顧客層の拡大」を本年度の重点課題として様々な施策に取り組んでおります。

その方策として、大学生向け金融教育メディア『マネラボユー』を2025年8月にリリースいたしました。「金融リテラシーへの入口」として大学生の成長サポートを目指しており、家計管理から資産形成まで、お金の知識とスキルを専門家監修のセミナーや記事でわかりやすく提供するとともに、同じ関心を持つ学生同士の交流機会も用意しております。

また、『アプデミー®』において、分散型台帳を用いたNFT等のデジタルバッジやDAO（分散型自立組織）(※2)、生成AI等といったWeb3.0技術の研究開発及びサービス開発・拡充に引続き取り組んでおります。外食産業のグローバルインターンシップにおけるNFTを使ったデジタル証明発行の支援を行ったほか、落合陽一サマースクール2025におけるAIアバター×NFTによる自己主権型アイデンティティ管理の実証を行いました。今後、個人のアイデンティティ情報を活用した自己主権型プラットフォームの実現により、「多様な体験」を個人の資産として活用し、就職活動等での活用を目指してまいります。

株式会社ポトスでは、地方自治体におけるインターンシップイベントの企画、集客、当日の運営支援を行いました。このような実績の積上げは、就職・採用支援サービスであるCABUILD構想の成功にもつながると考えております。

主力の教育業務においては個別収益管理の徹底を基本に、近年のコスト増などを踏まえた価格の適正化に継続し

て取組んでおります。人材育成サポート事業においては、eラーニング教材制作を効率化するAIエージェントツール『iStudy® AI Creator』をリリースいたしました。生成AIサポートにより教材企画から編集までを最適化し、高品質な教材の迅速な制作が可能であるとともに、パーソナルAIが学習者に応じた個別学習を支援いたします。このリリースを契機として、当社はこれからもAI技術を積極的に活用し、お客様のビジネスの成長を支援するサービスを提供してまいります。

業績面では、前連結会計年度に連結子会社となったNINJAPAN株式会社(以下、「NINJAPAN」という。)の売上寄与があったものの、前連結会計年度にあった医療関連サービスにおける臨床検査基幹システム開発の剥落や医療システム用プリンタの機器更新の剥落影響等により、売上高は2,100,832千円(前年同期比 0.4%減)となりました。新サービスの販売促進費用発生等により、営業損失は423,979千円(前年同期は営業損失376,784千円)となりました。また、経常損失は395,367千円(同 経常損失343,979千円)、親会社株主に帰属する中間純損失は310,782千円(同 親会社株主に帰属する中間純損失261,387千円)となりました。

当社グループの事業は、大学入試業務をはじめとした利益が第4四半期連結会計期間にかけて増加する傾向にあるため、中間連結会計期間の売上高は相対的に少なくなる傾向にあります。しかし、人件費等の固定費は四半期ごとに変動する性質ではないため、結果として、中間連結会計期間の利益が、他の四半期に比べ極めて低い水準にとどまり、例年第3四半期まで損益はマイナスであります。通期では当該マイナスは解消されております。

売上高の内訳は次のとおりであります。

<システム運用>

前連結会計年度に連結子会社となったNINJAPANの売上寄与等により、1,906,501千円(前年同期比 4.0%増)となりました。

<システム開発及び保守>

医療関連サービスにおける臨床検査基幹システム開発の剥落等により、180,845千円(同 19.5%減)となりました。

<機械販売>

医療システム用プリンタの機器更新の剥落等により、13,485千円(同 73.3%減)となりました。

(※1) NFT :

Non-Fungible Token の略語。ブロックチェーン上でその唯一性が保証されているトークンであり、暗号学的にその保有や来歴を証明することが可能です。

(※2) DAO (分散型自立組織) :

運営会社や取締役会等の中央管理者を置かずに、参加者全員で意思決定を行う組織を指します。組織管理の観点ではガバナンスの透明性や組織・財産の管理や執行コストの低減につながることで、また経営の観点ではトークンによる経済圏の生成を通じて持続的な成長へつながることが期待されています。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて1,038,410千円減の8,215,423千円となりました。これは主に売掛金及び契約資産の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて772,179千円減の2,176,973千円となりました。これは主に未払法人税等の納付による減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて266,230千円減の6,038,450千円となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績は、概ね当初予想どおりの推移であり、通期連結業績予想につきましては、2025年4月30日に公表いたしました連結業績予想と変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,273,321	3,507,062
売掛金及び契約資産	2,450,880	1,035,730
仕掛品	1,940	463
その他	116,878	221,906
貸倒引当金	△2,314	△933
流動資産合計	5,840,706	4,764,228
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	94,371	88,157
工具、器具及び備品(純額)	56,365	50,011
リース資産(純額)	44,215	69,674
有形固定資産合計	194,953	207,843
無形固定資産		
のれん	304,455	287,577
ソフトウェア	955,947	816,666
ソフトウェア仮勘定	193,399	201,881
その他	11,214	10,638
無形固定資産合計	1,465,017	1,316,764
投資その他の資産		
投資有価証券	1,183,723	1,285,619
繰延税金資産	253,291	313,504
差入保証金	169,069	168,687
その他	147,072	158,776
投資その他の資産合計	1,753,157	1,926,587
固定資産合計	3,413,128	3,451,195
資産合計	9,253,834	8,215,423

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	256,940	156,807
1年内返済予定の長期借入金	381,366	321,420
リース債務	37,734	29,695
未払金	79,449	32,378
未払費用	112,898	117,728
未払法人税等	219,633	17,169
賞与引当金	139,599	146,176
その他	559,849	329,665
流動負債合計	1,787,471	1,151,040
固定負債		
長期借入金	714,405	553,695
リース債務	10,627	47,323
退職給付に係る負債	436,649	424,914
固定負債合計	1,161,681	1,025,933
負債合計	2,949,153	2,176,973
純資産の部		
株主資本		
資本金	637,200	637,200
資本剰余金	693,900	692,729
利益剰余金	4,771,474	4,419,807
自己株式	△13,429	△3,409
株主資本合計	6,089,145	5,746,327
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	215,535	292,123
その他の包括利益累計額合計	215,535	292,123
非支配株主持分	—	—
純資産合計	6,304,681	6,038,450
負債純資産合計	9,253,834	8,215,423

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	2,108,261	2,100,832
売上原価	1,848,480	1,741,574
売上総利益	259,781	359,258
販売費及び一般管理費	636,565	783,237
営業損失 (△)	△376,784	△423,979
営業外収益		
受取利息	86	790
受取配当金	17,897	20,061
受取手数料	480	467
投資事業組合運用益	2,245	4,301
保険解約返戻金	14,638	4,424
その他	172	1,889
営業外収益合計	35,520	31,934
営業外費用		
支払利息	2,231	2,578
株式報酬費用消滅損	100	—
その他	383	743
営業外費用合計	2,715	3,322
経常損失 (△)	△343,979	△395,367
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前中間純損失 (△)	△343,979	△395,367
法人税、住民税及び事業税	11,160	10,798
法人税等調整額	△93,752	△95,383
法人税等合計	△82,592	△84,584
中間純損失 (△)	△261,387	△310,782
非支配株主に帰属する中間純損失 (△)	—	—
親会社株主に帰属する中間純損失 (△)	△261,387	△310,782

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純損失 (△)	△261,387	△310,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,797	76,588
その他の包括利益合計	15,797	76,588
中間包括利益	△245,589	△234,194
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△245,589	△234,194
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。